

令和3年第8回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和3年6月24日（木）午後2時開会

2 場 所 天草市役所 庁議室

3 本会議に出席した教育委員等

委 員	黒 鶴 進 治	委 員	行 合 八恵子
委 員	木 下 えり子	委 員	吉 森 啓 司
教 育 長	石 井 二三男		

4 本会議に出席した事務局職員

教 育 部 長	長 元 忠	教育総務課長	本 多 俊 隆
学校教育課長	赤 星 潤 一	学校給食課長	堀 口 広 正
生涯学習課長	岡 田 恵	学校教育課審議員	酒 井 成 寿
学校教育課課長補佐	口 脇 大 作	学校教育課教務2係長	宮 口 恵 美
学校給食課管理係長	渡 邊 英 治	教育総務課施設係長	正 村 謙 一
教育総務課課長補佐	谷 口 哲 也		

5 本会議に付した議題等

(1) 議題

議第22号 天草市教職員住宅管理規程の一部を改正する訓令の制定について

議第23号 天草市就学指導委員会委員の委嘱について

(2) 協議・報告

① 令和3年度天草市地域学校協働活動運営委員会委員について (生涯学習課)

② 令和3年7月行事予定について (教育総務課)

6 会議の概要

(1) 開会

石井教育長： ただ今から、令和3年第8回天草市教育委員会定例会を開会する。傍聴人がいないことを確認する。

(2) 前回会議録の承認

石井教育長： 前回の会議録であるが、何か意見はないか。なければ、承認してよろしいか。
(全員承認)

(3) 教育長報告

石井教育長： 中体連が開催されているが、これまで大きな事故もなく実施できている。吉森委員は倉岳中柔道部を指導されており、ご協力に感謝する。

令和4年の県立高校入試日程が6月2日朝刊に公表されたが、急なことで戸惑っている。入試日程が2月24日及び25日、前期試験が1月24日及び25日に設定されている。あわせて、熊本市外の県立高校前期選抜試験の制度変更等も公表されている。これが、市町村への事前連絡がなく、マスコミ報道が先行した。大きな影響がある市町村への配慮を求め、県に対して抗議を行った。これまで、卒業生への配慮から、どこの自治体も合格発表前日あたりに卒業式を実施してきたが、合格発表が早まれば、卒業式も前倒しせざるを得ない。対応策は検討中だが、7月又は8月の教育委員会までには方向性を報告

できると思う。

コロナ関係の集団接種等も計画的に進められているので、報告する。

(4) 議題

議第22号 天草市教職員住宅管理規程の一部を改正する訓令の制定について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

本多教育総務課長： 議第22号天草市教職員住宅管理規程の一部を改正する訓令の制定について説明する。

本市教育委員会では、教職員住宅として、戸建て・集合住宅、合わせて64戸を設置している。入居要件としては、市内の小学校及び中学校に勤務している者が入居できると規定している。今回、行政財産の用途廃止に向けて、教職員住宅管理規程の別表から削除をお願いする案件は、老朽化等により入居不可のもの、または今後入居見込みのない住宅、7件である。位置図を別添しているが、牛深教職員住宅第6号は、平成31年3月に退去され、昨年は、災害時に一時的利用があったが、老朽化している住宅である。御所浦町教職員住宅第2号は、令和2年8月まで入居者がいたが、敷地の地盤沈下に伴い建物が傾き、入居できない状況にある。栖本中学校教職員住宅第1号、第2号及び校長住宅については、平成30年3月までに退去されており、教頭住宅も本年3月に退去となったものである。天草町教職員住宅第18号は、平成25年3月に退去されている。これら教職員住宅については、天草市教職員住宅管理規程の別表から削除する改正を行い、その後、行政財産の用途廃止手続きを考えている。行政財産の用途廃止後は、市長部局にて判断するが、市営住宅としての活用や公募による売却、あるいは建物を解体して土地を利用するなど、有効活用が図られることになる。なお、御所浦町教職員住宅第2号は、学校敷地内にあり、修復が困難であるため、解体の予定である。

石井教育長： 事務局から説明があった。何か質問等はないか。

石井教育長： なければ、議第22号について承認してよろしいか。

(全員賛成)

議第23号 天草市就学指導委員会委員の委嘱について

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

赤星学校教育課長： 本件については、天草市就学指導委員会委員として任命している委員の人事異動に伴い、天草市就学指導委員会条例第3条第2項の規定により、天草市健康福祉部健康増進課母子保健係長の竹下恵美様を新たな委員に委嘱するものである。なお、任用期間は前任者の残任期間となり、令和4年10月31日までとなる。

石井教育長： 説明があったが、質問等はないか。

吉森委員： この委員会の開催頻度及び審議対象者の年齢を確認したい。中学校を卒業する対象者への対応はどうしているか。

赤星学校教育課長： 会議は年2回開催する。小中学生を対象に審議する会議であり、高校入学時の連携等は行っているが、直接的に高校生を審議対象とする会議ではない。

吉森委員： 就学指導を行い、目的とする自立可能な状態に至ることが期待されるので、そこまでのサポートを願いたいとの思いからの質問である。

口脇学校教育課長補佐： 中学校で作成する個別教育指導計画や個別教育支援計画については、保護者承諾を得て作成し、卒業時も保護者同意を確認し進学先への提供を行うことで中高連携を図っている。これにより、切れ目のない支援体制構築を図っている。

行合委員： 就学指導の順序、小学校入学前からの情報把握などを含め全体的な取組を伺いたい。

宮口教務2係長： 就学指導委員会では、心身障害児の障がいの種類及び程度に応じた適切な就学指導に関する事項やその他教育委員会が必要と認める事項について、調査審議を行っている。就学前のお子さんで、このような気になる事項がある場合、保護者の方から、通園し

ている保育園や幼稚園、障害児サポート施設などに相談いただき、就学先となる小学校とも連携して、情報をあげていただいている。その資料等に基づき、実際に通っている保育園等を学校教育課の職員が訪問し、さらに資料を取りまとめ、就学指導委員会に諮っている。第1回目の就学指導委員会は9月末頃に開催しており、この回では、主に新設の特別支援学級を設置する必要がある案件について審議を行っている。その審議の結果を県にあげ、1月頃にその結果が市へ伝えられる。なかには新設がかなわない場合もある。2回目の就学指導委員会は1月末頃に開催しており、ここでは主に既設の特別支援学級への転級等を希望する児童生徒の審議を行っている。

石井教育長： 9月に審議する件数はどの程度か。

宮口教務2係長： 9月の新設等の案件が20から25件、1月が50件から多い時で60件、年間70件を超える件数を審議している。

行合委員： 能力と通学先が逆転している場面も見られる。保護者の意見が優先されるのか。

石井教育長： 保護者の意向が優先される制度となっている。

長元教育部長： 国の指針で保護者意向優先が示されている。その中で、保護者にもかわりを求めながら、それぞれの状況に応じて適切な対応が図られるように取組んでいる。

行合委員： 「僕アホやない人間だ」を著した福井達雨さんの影響を受けて教育を志した。重度障がいでも普通学級への通学を打ち出した先生であった。子どもにとって育つ環境は大切であると痛感している。

石井教育長： 就学指導については様々な意見があり、なかには全員普通学級に行く方が良いとの意見もあるし、全てを支援学校で受け入れることも現実困難である。実際に親族に障がいがあって小学校入学時に悩んで相談を受けた経験がある。保護者も悩んだが、将来、親より長く生きていくときに、子どもが少しでも自立してほしいとの判断で支援学校を選択した。親にとっても難しい選択になる。いろいろな角度で検討するためにも、最大限の進路指導を行っていきたいと考える。そのために設置する委員会であり、いろいろな角度から検討いただいている。

ほかになければ、議第23号について承認してよろしいか。

(全員賛成)

(5) 協議・報告

① 令和3年度天草市地域学校協働活動運営委員会委員について (生涯学習課)

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

岡田生涯学習課長： 天草市地域学校協働活動運営委員会設置要綱第3条の規定に基づき、地域と学校が連携・協働する活動の円滑な推進を図ることを目的として、現在の推進員の代表のほか、地域住民の代表者等9名の委員をお願いしている。

そのうち4名について任期満了に伴う交代があり、4名を新たに任命並びに委嘱を行ったので報告する。

石井教育長： 質問等がなければ、次に進む。

② 令和3年7月行事予定について (教育総務課)

石井教育長： 事務局より説明をお願いします。

本多教育総務課長： 資料に7月の行事予定について掲載している。未記載だが、7月1日は教育委員会臨時会を予定している。7月5日から7日にかけて学校訪問が予定されている。7月17日には、社会を明るくする運動表彰式が、コロナウイルス感染症拡大防止のため、出席者を絞っての開催が予定されている。7月28日には、教育委員会定例会を14時から予定している。

木下委員： 臨時会の開催予定時刻は。

谷口教育総務課長補佐： 正式な招集通知は別途送付するが、午後2時30分を予定するので承知おき願う。
石井教育長： 質問等がなければ、次に進む。

(6) その他

石井教育長： 次に、その他として何かないか。

吉森委員： 中体連については、コロナ禍のなかでスムーズな運営をされていた。中学生柔道の外部コーチとして指導している。大会規約等は一昨年同様なのに、コロナウイルス感染症予防のため大会会場入場者の制限があり、外部コーチは1名しか入れず、観覧席も3年生保護者に限定されていたため、指導してきた子どもたちの集大成が見れない事例があった。天草大会だけでも、コーチ枠を広げてほしい。小中学校部活動の社会体育移行が進められるなかで同様の事例も予想されるので、見直しを願いたいと思った。

長元教育部長： どの競技も各種目団体のガイドラインをもとに制限を協議し、中体連は有観客で開催できたが、種目・会場ごとに人数等の制限を設け、苦勞しながら開催されたと聞いている。

酒井学校教育課審議員： 昨年の中体連は開催できなかった。今年は、ガイドラインの見直しを行い実施できたが、中体連側も、種目ごとの特性、会場の状況などをコロナウイルス感染症対策と合わせて検討し実施されている。

石井教育長： 外部コーチの人数制限は検討できる部分もあると思うので、事務局にご意見・ご意向は伝えたい。

ほかにあるか。

岡田生涯学習課長： 図書館だよりを配付しているのでご覧いただきたい。

行合委員： 御所浦図書館の配付がない。御所浦図書館の活動も知りたい。

岡田生涯学習課長： 御所浦図書館は昨年度から発行していない。今後は見直しを行い、各館単位での発行ではなく、図書館全体での発行も検討している。

堀口学校給食課長： (新)本渡学校給食センターの進捗状況だが、ポーリング及び杭打ち工事に入っている。

行合委員： 天草中の先生たちと話をした。天草町の学校給食に感動されていた。食事内容のほか食器も好評であった。

長元教育部長： 天草町では食器に陶磁器を使っている。ほかのセンターでは食洗器等の関係で強化磁器を使っている。天草市全域で陶磁器にという要望もあるが、天草町は小規模校ということもあり陶磁器を使える状況。

(7) 閉会

石井教育長： それでは、以上をもって本日の会議を閉じる。大変お疲れさまでした。